

不定詞 その2: 名詞的用法

to + 動詞の原形

この形のことを、「不定詞(ふていし)」と呼びます。

その2 : 名詞的用法 「～すること」

To walk is good for health. 歩くことは健康に良い。 ※health(ヘルス) = 健康

My hobby is to listen to music. 私の趣味は音楽を聴くことです。

I like to play the piano. 私はピアノを弾くことが好きです。(= ピアノを「弾くのが」と訳してもOK。)

He started (または began) to study math.

彼は数学を勉強することを始めた。 = 彼は数学を勉強し始めた。

↳ 「～することを始める(始めた)」という言い方でも悪くはないけど、

「～し始める(し始めた)」という言い方のほうが自然だよね(^o^)/

I want to read the new book. 私は新しい本を読むことが欲しい = 私は新しい本を読みたい。

↳ 「読むことが欲しい」という言い方はしないよね。

want + to + 動詞の原形 は特別に「～したい(したかった)」と訳しましょうㄉ(^▽^)

I tried to open the window. 私は窓を開けることを試みた。 = 私は窓を開けようとした。

↳ 「開けることを試みた」という言い方も、全くしなくはないけどちょっと不自然…

try + to + 動詞の原形 は「～しようとする(した)」と訳すと自然だね♪

★ その2 の特徴 ★

基本的には「～すること」という意味になると考えてOK。

ただし、上に書いたように、

start (begin) + to + 動詞の原形 / want + to + 動詞の原形 / try + to + 動詞の原形

これらは「～すること」と和訳すると不自然なので、それぞれに合った訳し方(意味)で覚えよう(^o^)

start (begin)、want、try 他に like、hope、wish など…

これらの一般動詞の後ろに不定詞(to + 動詞の原形)が来る場合、

教科書や参考書では、「動詞の目的語としての不定詞」、「動詞の目的語の役割」などと

「目的語」という言葉で説明されているかもしれません。

でもこれは、「イチから(初級)」を学習中の皆さんはあまり気にしなくても大丈夫!

(・▽・)。o O(基本「～すること」だけど、そう訳すと不自然なものはそれぞれに合った意味で。)というふうに理解しておけば、つかみやすいと思いますよ♪

【ミニ練習問題】 次の英文を和訳せよ。

- I like to talk with friends. (私は友達と話すことが(話すのが)好きだ。)
- She began to run. (彼女は走り始めた。)
- I want to buy a new car. (私は新しい車を買いたい。)
- They tried to answer the question. (彼らは(その)質問に答えようとした。)

不定詞 その3:形容詞的用法

★では、例文で見てください。

I want **something** to read. 私は読むための何か(何か読むためのもの、何か読むもの)が欲しい。
 Please give me **something** to drink. 飲むための何か(何か飲むためのもの、何か飲むもの)をください。
 There are many **places** to visit in Kyoto. 京都には訪れるべき(訪れるための)場所がたくさんある。
 ※ **many places** をひとまとまりで名詞と考えてもOK。また、和訳は **たくさんの場所** でもOK♪
 He bought **a present** to give his mother. 彼はお母さんにあげるためのプレゼントを買った。

【ミニ練習問題】

次の英文の **名詞** の部分は **箱** で囲み、不定詞(to + 動詞の原形)の部分には下線を引いてみよう。
 また、それぞれの英文を和訳して、そちらも **名詞** は **箱** で囲み、不定詞には下線を引いてみよう。

例) I want something to eat.

→ I want **something** to eat. ※日本語の文は **不定詞** **名詞** という形になるように箱や下線を引いてね!
 (私は食べるための何か(何か食べるためのもの、何か食べるもの)が欲しい。)

Please give him **something** to drink.

(彼に食べるための何か(何か食べるためのもの、何か食べるもの)をあげてください。)

There are some **places** to visit in this town.

(この街(町)には訪れるべき(訪れるための)場所がいくつかある。)

※または **some places** と囲んで、「訪れるべき(訪れるための)いくつかの場所がある」でもOK。

★ ここから少し難しくなりますよ。でも大丈夫！ ゆっくりついてきてね。★

↓これは、「その1(副詞的用法)の、さらにその①」の解説プリントの中に出てきた例文です。

I went to the library to study math. 私は数学を勉強するために図書館へ行った。

…あれ？ この文、

I went to **the library** to study math.

↑ library(図書館)が名詞だから、このように **箱** で囲める気がしませんか？

(o^▽^)o<する〜〜！

するよね？ しますよね？ 名詞 + 直後に不定詞(to + 動詞の原形) となっているもんね？
 でも…その名詞を **箱** で囲んで、さっき練習したように「その3」の訳し方で和訳してみると、

私は数学を勉強するための**図書館**へ行った。(. .)

…「数学を勉強するための図書館」？ …?? そんな図書館ある??

おかしい。これはおかしい。

つまり、I went to the library to study math. この英文は、

形は「その3」の形をしているとも言えるけれど、意味(和訳)を考えると「その3」の意味ではおかしいので、その3(形容詞的用法)の英文ではないということなのです！

「その1のその①」の解説や練習問題に出てきた英文は、この特徴(名詞を **箱** で囲むとその3っぽいけど、その3の和訳のしかたで和訳してみるとおかしい)が当てはまるものが多いので、1つ1つ確認してみると、その1の復習にもなるし、その3の勉強にもなりますよ。ちょっと大変だけど Let's try(≧▽≦)